

乍憚以口上奉申上候

各様益々御機嫌能被遊御座恐悦

至極奉存候随て私義初年より芸道

執心にて旧年三代目故伊勢太夫

取立を以て家元より巴勢太夫を

芸名貰受候処其後司太夫と

改名致候得共未タ名弘ろ

ふ致候ニ付此度吾妻太夫殿

八五郎殿兩人よりすゝめにて

最早名弘会いたし候にてても

誠に江戸表■今事に付

芝居相勤候様達て

飛中関乍併未熟之私

何れも様之御思召もかへり見ず

御当所において此度

名弘会致候間何卒

御ひいき御引立之程

奉希上候以上

常磐津

司太夫

月日